

《令和5年度版 夢と感謝の心を大切に、桑村小創立150周年》

夢の扉を開く、創立150周年！

桑村小学校 令和5年11月28日 No.12 文責 渡邊

150周年記念式典と「はごろも『夢』講演会」を終え、それぞれの桑っ子がそのよさをいっぱい感じました！②

今回は、前回に続き、150周年記念式典と「はごろも『夢』講演会」を振り返る中、4年生から6年生の子供たちが感じたことを紹介します。

【第4学年児童の振り返りより】

◆すてきなオペラやアコーディオン、ピアノを聴かせてくれてありがとうございます。私はオペラにきょうみがなく、何も知りませんでした。でも、水船先生、かずき先生が一から教えてくれたから、オペラが好きになりました。

夢のお話では、「勇気をもち続けなければかなう」という言葉が、心にずしんときました。この「勇気」という言葉は、あきらめない、チャレンジするという意味もこめられていると感じました。



【くわにんじん】

◆私は、あらためて「夢」がとても大切であることが分かりました。人との出会い、そのことで自分の「夢」を見つけることができるかもしれない。また、人の「感性」が素晴らしいことであることもわかりました。

そして、ピアノをひいていたやす子先生がすごいと思いました。私は小さいときからピアノを習っています。なので、いつかピアニストになってみたいと思っています。

オペラはいいなと思いました。良い気持ちになれる演奏と歌がとてもきれいでした。

◆水船先生の話聴いて、書道家になるには経験が大事なことで、勇気をもち続けることが大切だと分かりました。だから、あきらめずにむずかしい字でもチャレンジしていきたいと思います。

オペラは、とても高い声で歌っていて、すごいと思いました。聞いたことのある音楽があって、オペラが身近なところにあることを知りました。

【第5学年児童の振り返りより】

◆さくまさんのピアノと歌声がすごかったです。特に、歌声はわたしたちの心を動かすようでした。

オペラは、私たちが出すことのできないくらいの歌声ですごかったです。オペラについてあまり知らなかったけれど、今回のコンサートでは知っている曲もあったので、意外と身近にあるんだなと思いました。

夢についてはなやむことがあったけれど、水船先生が言っている言葉を大切に取り組みでいきたいと思いました。



【さくまさんと共に】

【第6学年児童の振り返りより】

◆オペラを聴いてみて、オペラは身近なところにあることを知りました。また、オペラは歌うだけではなく、演劇をしながら歌うことも知りました。高い音から低い音まで出していてすごかったです。アコーディオンによる演奏を初めて間近で見ました。ボタンがたくさんあってびっくりしました。ピアノの演奏は、強弱がたくさんあり、音色もとてもうつくしかったです。

水船先生の話から、夢をかなえるには、「人と会う」、「願う」、「勇気」の三つが大切であることを知りました。私は「養護教諭」になるという夢をもっていますが、まだ人と会うことしかできていません。しかも会っているのは、桑村小学校の人たちがほとんどです。だから、これからはもっと広いところに行って、いろいろな人と出会うことで夢をかなえたいと思いました。

◆本場のオペラの歌声を聴いたとき、なんかふるえたというか、鳥肌が立ってすごいなと思いました。オペラは初めてだったけれど、以外と身近にあるのだなと思いました。アコーディオンの演奏は、ボタンがたくさんあり、はあくするのがとてもむずかしかったです。

夢をかなえるために、これからは、いろいろな人と会っていきたいです。いろんな場所に行くことはむずかしいけれど、努力して夢をかなえたいです。

◆オペラを初めて聴いて、リズムが速かったり、ゆっくりになっていたところがすごかったです。高い声で歌っているときは、とても聴きやすかったです。

水船先生の話聴いて、夢を見つけたり、かなえたりするには、たくさんの人と出会ったり、いろいろな場所に行ったり、勇気をもったりすることが大切だということがわかりました。

だから、ぼくは勇気をもってたくさんの人と出会ったり、いろいろな場所に行ったりしたいと思いました。これからも、あきらめないで夢に向かってがんばっていきたいです。



【オペラのコンサート①】



【オペラのコンサート②】



【水船先生の講話】



【感想発表】

子供たちの振り返りで、オペラのコンサートによる鑑賞から多くの発見があったことが伝わってきました。本校の子供たちにとってアーティストの歌声や演奏を生で聴く体験の大切さを改めて強く感じました。

そして、水船桂太郎氏の講演も、本校の学校教育目標である「夢に向かい感性を育む桑っ子」と関連付けてお話いただいたことは、「夢」に向かって取り組むことの大切さを子供たちは強く感じることで大きな成果となりました。

また、体験したことを自分の言葉で表現することは、子供一人一人の感性を育む上でとても有効な学びの手段となったことも認められました。